

鳥取市環境審議会（令和3年度第1回） 議事録

1. 日 時 令和4年2月8日（火） 13：30～14：45
2. 場 所 鳥取市役所本庁舎6階 第5会議室・第6会議室
3. 出席者
 委員：吉永委員、笠木委員、南條委員、中村委員、竹内委員、山本委員、
 手島委員、牛尾委員、中嶋委員
 事務局：（鳥取市） 国森局長、坂本補佐、田中主任、土井主事
4. 審議事項
 第2期鳥取市環境基本計画後期目標について
5. 議事概要 以下のとおり（注：発言内容は一部要約して掲載しています）

発言者	発言内容
事務局	<p>只今から、令和3年度第1回鳥取市環境審議会を開会します。お忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。</p> <p>本日の審議会ですが、委員4名より所要のため会議を欠席される旨、連絡がありました。また、委員1名から一身上の都合により令和3年3月31日付けで辞職届が提出されましたので現在の委員数は13名であることをご報告させていただきます。委員総数13名中、出席委員数9名で半数以上となりますので、本日の会議は成立しておりますことをご報告します。</p> <p>開会に先立ちまして、令和3年4月1日付けで環境局長の異動がありましたので、紹介させていただきます。〈局長あいさつ〉</p> <p>では、開会にあたりまして会長からご挨拶をお願いいたします。</p>
会 長	〈あいさつ〉
事務局	それではこれ以降の進行については、会長に議長をお願いいたします。
会 長	それでは議事に入ります。議事録署名委員を名簿順に2名の委員にお願いしたいと思いますが、ご了解いただけますか。
両 委 員	了解。
会 長	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、短時間で終了する予定としています。</p> <p>本日質問ができなかった場合は、別途事務局へお問い合わせください。</p> <p>議事についてまず、事務局からの説明をお願いします。</p>
事務局	〈第2期鳥取市環境基本計画後期目標が未達成の指標のうち、主なものについて説明〉
会 長	質問・意見はありませんか。
委 員	35番の「都市公園面積」について。この都市公園というのは、市が指定している公園と公共空地を利用した地区が管理するものと、どちらを挙げているのでしょうか。
事務局	都市公園法に基づき設置された公園となっており、鳥取市が指定する街区公園や総合公園、緑地もすべて含めています。
委 員	分かりました。
会 長	私から質問というより意見ですが、未達の部分と達成の部分を見比べていて、43番の

発言者	発言内容
	<p>公式ウェブサイト閲覧数が非常に増えているのが気になりました。基本目標17に「環境学習・教育の充実」がありますが、指定の学校数の増減によって影響を受けるため、ここでの数値目標としては率のほうが良いと思いました。例えば学校教育のカリキュラムに市の広報ページを取り入れているか等、実質的な情報の発信など、令和の時代に向けて目標値・項目も見直していく必要があると思います。令和4年以降目標を設定する場合は目標の項目を変えられるものは変えていった方が良いと思います。例えば公園面積については、ヘクタールにするのか、市民一人当たりの率とするのかなどがあります。対外的に都市の魅力を発信していく場合には、数値よりも一人当たりの方が鳥取市をアピールしやすいのではないかと思います。居住者に対し安全・安心や、良好な生活環境を提供する施策であると同時に鳥取市を持続可能な都市・地域・圏域にしていくために何をすれば良いのか、項目を変えることによって市の姿勢を見せることができると思うので、数値の出し方を考えていただければと思います。いずれにせよ43番はポジティブで近代的な感じがするので、これはぜひアピールするべきです。</p> <p>他に質問はありませんか。</p>
委員	<p>「基本目標15 歴史・文化的環境の保全」の指標の「主な文化財施設への入込数」「指定文化財への訪問者数」について、目指す方向性が増加となっておりますが、たくさん入ることが環境基本計画の目指す目標となっている理由がよく分かりません。少ないよりは多いほうが良いことは分かりませんが、例えば100万人入るとめっちゃくちゃになってしまうと思いますが、その辺りのなぜ増加が良いのかということについて教えてもらいたいです。</p>
事務局	<p>鳥取市にある歴史文化施設をたくさんの方に知っていただけたほうが良いということで、目指す方向は増加としています。</p>
委員	<p>教育的な意味で増加したほうが良いということですか。</p>
事務局	<p>はい。それも含めてです。</p>
会長	<p>市が整備した施設については、費用対効果という面もあるので、市の施策としていううえでは重要だと思います。委員がいわれるように無限に増えていくことがいいことなのか、どこが適正值なのか判断するのは難しいですが、その辺りも実際の効果を数値化することができればと思います。例えば入館者の満足度といった目標を作るのも一つの手法ではないかと思います。</p>
副会長	<p>第2期の目標値を精査されていると思いますが、10年スパンを前期後期にわけて、判断しているのですよね。委員も言われましたが、そもそもの基本目標というのは前期と後期で項目を変えるのですか。前期に決めたものを後期も引き続きということであれば、第3期計画を策定して最初の基本目標というのが一番大事になってくると思います。そもそも環境に対する部分の評価をしようとしていると思いますが、私は経済界に居り、観光客がたくさん来ていただけるのはありがたいのですが、環境面から見ると別の議論になってくると思います。第2期はすでに終わった計画ですが、今後の基本目標の項目立てについて、事務方はどうお考えでしょうか。</p>

発言者	発言内容
事務局	先ほど進捗状況や社会状況、環境問題の変化等に対応するために適宜見直しを行うと説明させていただいたと思うのですが、基本的に最初作成した指標は継続していきますが、前期後期にかかわらず、指標が時代に合っているのかどうかという検証も行いながら修正を加えますので、固定ではないです。
副会長	ということは先ほど説明いただいた 18 の基本目標や指標は変わっていったということですか。 例えば 2 番目の「再生可能エネルギーの導入」は平成 23 年度からずっと継続していますよね。そうなるとうとういったところがどんどん変わって行ったのですか。
事務局	例えば 18 番の「再資源推進団体登録数」ですが登録するだけで実施していない団体が含まれるため、後期目標としては「回収総量」へと変更しています。 全部固定というわけではなく、そぐわない内容については修正を加えています。
副会長	なるほど。ただそれがどれを変えたか、説明を受けない限り一目瞭然でわからないということですよ。分かりました。
委員	19 番の「湖山池中央部の COD75%値」をみると、平成 23 年度から平成 27 年度まで目標値が 3.0 となっていますが、令和 2 年度の目標値は 5.5 となっています。これも先ほど説明があったとおり変更しておられるということですか。3.0 というのは環境基準値ですよ。5.5 というのは湖山池水質管理計画で出ている数値ではないかと思いますが、数値が違うとなると、紛らわしいので類型 A、3.0 というのが決まっているので、これでいってはどうでしょう。
事務局	今回説明させていただいています第 2 期環境基本計画は昨年度に終了した計画で、すでに第 3 期が始まっています。
委員	第 2 期のときに令和 2 年度の目標は 5.5 にしたということですか。
事務局	第 2 期策定当初は 3.0 以下で、後期から 5.5 に変更しています。
委員	3.0 が法律の定めのある正しい数値ではないでしょうか。 3.0 の目標が達成できないから修正した目標値が 5.5 で、それを達成できたら次は 3.0 を目指そうという考えですよ。だけど本当の目標は 3.0 です。 その辺りを機会があれば、言ってみてほしいです。
委員	9 番の「学校給食への地元産食材の使用率」ですが、カロリーベースで計算されたのか、重量だろうかというのを教えてください。これは小学校ですか。
事務局	重量で計算しており、小中学校です。
委員	34 番の「保育園の園庭芝生化実施率」に関して。前期目標が 90%に対して後期は 75%となっているのですが、最終的には 100%を目指すということでしょうか。普及をさせるためだと思いますが、前期 90%に対して後期 75%に下がった原因と、最終目指しているところを教えてください。
事務局	目指すところは 100%だと思いますが、前期最終年度の平成 27 年度の実績が 68.2%でした。100%を目指して向かっていくのですが、その後 5 年間で 90%はちょっと難しいのではないかということで、目標値は 75%となっています。
委員	難しい原因というのは共通のものなのでしょうか。100%を目指しているけれども、実

発言者	発言内容
	績は70%前後ということの課題等がもし分かっていたら教えてください。
事務局	すみません。課題までは把握していません。
委員	分かりました。
会長	それでは続きまして、鳥取市の環境について事務局から説明をお願いします。
事務局	〈令和3年度版（令和2年度実績）鳥取市の環境 本編について報告と説明〉
会長	資料編も含めて、質問・意見はありませんか。 私の方から一つ、資料編のp.16からp.18までの湖沼の状況についてです。塩化物は湖山池に関しては海水導入しているの、非常に安定的に推移しているということですが、それに伴って湖山川のほうのBOD、CODというのは下がってきれいな水が流れているということは良いのですが、令和元年度からT-P、りんが急激に上がっているというのが見受けられます。これは湖山池だけではなく、多鯰ヶ池も令和2年度には下がっているのですがT-Pが上がっています。これは何か要因があるのでしょうか。
事務局	すみません。原因については今持ち合わせていませんので、また皆さんに何故かというの返させていただきます。
会長	おそらく年度ごとなので平均値だと思いますが、もしこれが事実だとすれば原因がないとおかしいと思います。環境に関わるものであるならば指導が必要になると思うので、きちんとした追及をしていただきたいです。 何か他にありますか。
委員	今の話ですが、T-Pというのはほかの項目と連動するので、有機物やプランクトンが増えてT-Pが増えたというのであれば、TNも増えます。そういったところも見極めてなぜ上がったのかというのを調べないといけないと思います。例えば低層の酸素が無くなり、そこからりんが溶出してきた等いろいろ原因は考えられると思うので、DOだとか総合的に判断をするのが良いと思います。
会長	1年を通して季節があるので、どの段階で上がったかというのが詳細を知るためには必要になります。一時的に上がるのは人為的なものである可能性が高いので、やはり指導が必要になると思います。 他に何かありますか。
委員	鳥取市の環境 p.11 をみると5項目に分かれていてそのうち「【都市環境】快適で住みよいまちづくり」の基本目標「環境に配慮したまちづくりの推進」ということで、これが具体的にどういうことにあたるのかよく分からないのですが、鳥取市は人が住んでいるところで野生動物と接触する機会が多いところになっていると思います。近年イノシシなどが増えてきているというのはあると思いますが、夜になると道路をイノシシが駆け回っている状況がみられます。鳥取市のいろいろなところでそういう事故の危険性があると思うので、具体的なデータを集めておくことを考えていただければと思います。
会長	今のところ市民からの苦情や問題提起はありませんか。市街地で野生生物と遭遇して危険な目にあった等ですが。
事務局	個別に担当課の方に苦情や連絡が入っており、熊の目撃情報などの情報提供は広く行

発言者	発言内容
	っています。
会 長	委員の問題提起としては、それをデータ化しておいたほうが良いのではないかということだと思います。データとして増えているのか減っているのか維持なのか分からないと対処しようがないということですね。
事 務 局	担当課の方でくわしい資料等持ち合わせていると思います。第3期環境基本計画では基本目標「誇れる自然と共生するまちづくり」の施策「生物多様性の確保」というところで鳥獣被害額を指標としています。
会 長	第2期にもある「生物多様性の確保」を引き継いで第3期にも入れていると思いますが、自然の方ではなく快適で住みよいまちづくりの方にそのデータセットがないとおかしいのではないかということだと思います。
事 務 局	参考にして検討したいと思います。
委 員	先ほどの話ですが、私どももかなりの数聞いていますが、その中で報告しているのは一部のような感じです。実際にどれだけ情報を収集できるかということが難しいと思います。 それとは別件で、p.7の「環境教育推進事業」について、どのような支援をやられているのか教えてください。
事 務 局	国のほうに登録をしているこどもエコクラブを対象に、会員1人当たり500円で上限15万円の補助をしています。
委 員	推進事業としては、小中学校、高等学校とどのようになっているのか伺います。
会 長	委員の質問は補助額ではなくて、それぞれの支援した団体の実施内容です。
事 務 局	クリーン活動やエコクッキング等です。
委 員	環境教育でも、防災教育のように都道府県ごとに取り組みを紹介して、互いに意識を高めあうということはされていますか。
事 務 局	今年度ですが市内の小中学生とその家族を対象として年5回環境教育を実施しています。定員は25名程度ですが、毎回ほぼ満員です。 こどもエコクラブだけでなく、そういった取り組みも行っています。
委 員	鳥取市の環境 p.7に「鳥取市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」とありますが、具体的にどういったことをしましたか。
事 務 局	第3期環境基本計画に内包して地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を定めているのですが、再生可能エネルギーの利用促進や省エネ等に取り組むようにしています。
副 会 長	環境基本計画の中には、いろいろなジャンルの内容が含まれており、施策は各部署が取り組み、事務局はそれを取りまとめています。環境基本計画は非常に大事なことで、全市で取り組まないといけないことです。各担当課から吸い上げて、分からない場合は担当課に確認することが必要です。
会 長	資料を見たうえで詳細が知りたいというところがあれば後日、書面かメールで情報を教えてもらえればと思います。 事務局はいろいろな部局を取りまとめる、いわゆる調整役ということになると思います。だからこそ市民からの質問・苦情については前面に立って担当課から資料を集め

発言者	発言内容
	て答えていくべきだと思います。
会 長	それでは以上で、令和3年度第1回鳥取市環境審議会を閉会いたします。